



2020年を貧困・格差解消と平和な年に 要求実現と組織建設に打って出よう

建交労神奈川県南支部に結集する全分会・組合員のみなさん“明けましておめでとうございます”2020年がスタートしました。神奈川県南支部の今年の目標はなにか。私たちは昨年10月27日に開催した第26回大会で「平和と民主主義、国民の命と暮らしを守り、トラック労働者の明るい未来を切り開く運動を発展させ、要求実現と組織の拡大・強化をはかる」方針を決定しました。今年の目標は全分会がこの方針をやり抜くことです。なかでも労働者・国民の要求実現と組織建設（組織の強化・拡大）は最重点課題です。

安倍政権は、大企業・富裕層を優遇して貧困と格差を広げ、アメリカのトランプ大統領の言いなりで米軍基地を強化し、自らの念願である日本を再び海外で戦争する国にするため憲法改悪にひた走る一方、“森友・加計学園”につづく“桜を見る会”でも政治の私物化が露呈し“カジノ導入”では身内から逮捕者を出すなどで支持率は急落しています。安倍政権はこの危機を突破するために、2020年は行政・メディアなどを総動員して日本国中を東京オリンピック・パラリンピック一色に染め上げて国民の目をあざむき、自らの野望を達成するために国民犠牲の策動をさらに強めてくることは間違いありません。

神奈川県南支部のすべての仲間は、方針を実践して実り多い年にするために情勢を攻勢的にとらえ建交労はじめ神奈川労連・地域労連への団結をつよめ、全分会・組合員が一丸

となって自らの切実な要求実現と組織の強化・拡大に全力を上げましょう。

とりわけ年明けからの重点課題は2020春闘での要求実現を引き寄せるために春闘アンケートのとりくみを文字どおり全組合員参加の運動に広げて組合員1人平均10人分の集約を達成させる運動を本気で追求することです。

写真は2020年元旦に横須賀市深浦湾をのぞむ高台から7:40頃に撮影

